



心をつなぐ桜の名所

植樹

これまでに桜の苗木をお送りした主な桜の名所をご紹介します。



町道公園連絡線 北海道松前町

松前町は、町内外にあった桜や町で育成された品種など、多種類の桜の郷として有名です。特に町立病院から桜名所地である松前公園に通じる町道の両側には、'染井吉野'120本などが1994年に松前花の会や松前ライオンズクラブによって植栽され、現在、見事な桜並木となっています。

また、'紅華'、'花笠'など松前町で誕生した八重桜は優良品種として全国に配布され、桜の名所づくりに貢献しています。

(写真提供：松前町)



紋別公園 北海道紋別市

市の中央に位置し、豊かな自然を満喫できる公園として1951年に開園しました。

朝日新聞の創刊95周年を記念して、日本全国に新しい桜の名所を100ヶ所つくる事業に賛同して、1973年に桜の苗木を提供しました。

公園内には市街やオホーツク海を一望できる流水展望台、花の丘、オホーツク庭園などがあり、長きにわたり住民の憩いの場となっています。



夢の森 青森県青森市

「豊かな自然を未来に残し伝えたい」という夢の実現のために、青森市内の企業が地域の協力を得ながら約40年に亘って整備している総面積150haの花木公園です。園内は自然景観を活かしながら「夢多き森」「長寿の森」「花香る森」として、40haに'関山'など、約4,000本の八重桜が植えられ北国の春を彩ります。また、様々な樹種が植えられた園内では、四季折々の花を自然の香りとともに楽しむことができます。

(写真提供：鹿内組)



臼木山 岩手県宮古市

臼木山は名勝浄土ヶ浜の後背にある小高い丘で、浄土ヶ浜から遊歩道が整備され、散策が楽しめるようになっています。

1994年に宮古市から「臼木山地区サクラ見本林整備計画調査業務」を受託し、臼木山が桜の名所となるように植栽計画を立案しました。この計画をもとに臼木山に桜が植えられ、現在は規模も拡大し、約100種類、800本の桜が育ち、地域の桜の名所になっています。

(写真提供：宮古市)



日戸の地区 岩手県盛岡市 (旧玉山村)

1996年に首都圏在住の「ふるさと玉山会」の呼びかけにより、ふるさとに桜の名所をつくろうと、住民と玉山会会員が2年間に亘りオオヤマザクラ10,000本を植樹しました。

当会はこの地に適する種類の選定や苗木の手配を行い、オオヤマザクラの植樹を指導しました。

清々しく雄大な自然を背景に花見を楽しむことができる特色のある桜の名所です。

(写真提供：広田 正美)



館山公園 鶴丸城 宮城県栗原市

鶴丸城は江戸時代から明治維新まで伊達家の家臣中村氏の居城でした。現在では館山公園と名称を変え、桜の名所として近県にも知られています。

この桜は、宮城県栗原市日本花の会が1974年から少しずつ植栽し、大事に育てたものです。活動を始めて約50年経った現在では約300種類、500本の桜が枝を上げ、見事な花の園となっています。

(写真提供：宮城県栗原市日本花の会)



東北大学 新青葉山キャンパス 宮城県仙台市

同校の卒業生が、先輩から受けた御恩を後輩たちに返したいとの思いから、「ご恩返しのできる」として、2018年3月に新設されたキャンパスに苗木を寄贈しました。悩み多き青春時代を過ごす学生たちを励まし、そして将来母校を思い出すときの心の拠り所となるような桜の名所となればという願いが込められています。

品種は仙台市に縁のある‘八重紅枝垂’から誕生した‘舞姫’や‘神代曙’です。



日本国花苑 秋田県井川町

昭和天皇・皇后両陛下のご訪欧、秋田県立県百年、井川小学校統合校舎建設を記念し、町のシンボルとなる日本一の桜公園を目指して、1972年より全国から集めた200種類、2,000本の桜が植樹されました。1989年から芝生広場やバラ園、新桜見本園も整備されました。桜は開花期が異なる品種が植えられているので‘染井吉野’が咲く前や散り始めた後にも多くの品種が花を咲かせています。

現在40haの園内は四季を通じて花を楽しむ場として多くの人達に親しまれています。

植樹



いわきの里鬼ヶ城 福島県いわき市

当会の会員が、出身地にある「いわきの里鬼ヶ城」を中心に桜の苗木を植え続けてきました。

園内には4月中旬から5月上旬まで咲く20種類ほどの桜が開花期ごとに植栽されています。特に、入口から本館までの園路沿いに咲く‘紅豊’の並木は全国的に珍しく、綺麗な桜並木を楽しめます。また施設から桜を通して遠望すれば、阿武隈山系の景観はまるで一枚の風景画の様です。

(写真提供：大平晃子)



農村公園 福島県いわき市

樹齢1,200年の夫婦杉がある諏訪神社の脇に市がこの公園をつくりました。この見せ場のひとつになるように、いわきの里鬼ヶ城にも植えられている‘紅豊’を用い、京都大文字焼きをイメージして、2010年に鳥居形に植栽しました。植栽後10年が経過し、樹が大きく育ったことで磐越道からもその形に植えられた‘紅豊’のアートを見ることが出来ます。

(写真提供：大平晃子)



陸上自衛隊 武器学校 茨城県土浦市

この駐屯地は大正時代に海軍水上機の発着場として開設され、土浦海軍航空隊として終戦まで予科練習部の教育を担ったところでした。

ここには多くの桜が植えられ、桜が咲く時期には一般開放を行い、駐屯地太鼓部(常陸陣太鼓)の演奏やちびっ子広場開設、自衛隊の歴史などを発信しています。桜を通じて地域に根付いた憩いの場を提供し続けています。

(写真提供：土浦駐屯地武器学校)



思川緑地 栃木県小山市

小山市内にあった修道院の‘十月桜’の実生から選抜・育成された桜で、市内を流れる川に因んで思川と名づけられました。1982年には、小山市の花に制定されています。

小山市ではこの桜を市内ブランドに指定し、市民にもっと知ってもらおうと、2000年から思川河畔や市内に里親を募って、植栽し続けています。近年では「おやま思川桜まつり」や「街道ウォーク」、「ほろ酔い思川桜ナイト」などのイベントを開催しています。

(写真提供：小山市)



天平の丘公園
栃木県下野市

8世紀に聖武天皇の詔により建立された「下野国分寺・国分尼寺」跡地を含む広大な都市公園で、根尾谷淡墨桜の子孫樹や‘関山’、‘普賢象’など多品種の桜が植えられています。天平の花まつりとして3月中旬から1ヶ月以上に亘り、変化に富んだお花見を楽しむことができます。当会は苗木提供や品種の同定調査などを行う一方、数年前よりエドヒガン系品種を増殖するための台木用種子採取にご協力を頂いています。



高崎城
群馬県高崎市

井伊直政が築城した高崎城は、今は城址公園となり‘染井吉野’など300本の桜が楽しめます。中心市街地にあることから桜は市民に親しまれ、お濠の水面に写る風景は市を代表する景色です。桜の樹勢が衰退したこともあり、当会は高崎市よりサクラ再生計画を受託し、保全管理や植替えなどについて提案や指導協力をしました。新しく植えた苗木は健全に育ち、名所を担う桜に育っています。



**伊香保グリーン牧場・ハラミュージアム
アーク アンド アーツ**
群馬県渋川市

牧場の開園30周年を記念して、牧場内と隣接する美術館の敷地内に植樹しました。当会は植栽計画の作成を依頼され、広い敷地をいくつかのゾーンに分けて、ゾーンごとに様々な品種の桜を植えました。場所ごとに桜の景色が変化して見られるように計画したことで、4月中旬から5月上旬まで1,500本の桜が次々と咲き続け、雄大な景色に見劣りしない桜の名所となっています。



赤城南面千本桜
群馬県前橋市

赤城山南面の斜面にある約3.5km、1,400本の桜並木です。1986年に当時の宮城村に寄贈した700本の苗木の一部がここに植えられています。

また、隣接する「みやぎ千本桜の森」の構想づくりにも参画し、2013年に開園した世界の桜ゾーンには、結城農場で育てられた海外にゆかりのある桜が植栽されています。これにより既存の‘染井吉野’の並木に彩りが加わり、来園者にも好評を得ています。

(写真提供：NPO法人赤城自然塾)



さくらの里 群馬県下仁田町

1983年に開園した県立の森林公園です。妙義山の南面山麓に広がる斜面を利用した約47haの園内には、約50種類、4,000本の桜が植栽されています。それらは今では大きく育ち、妙義山の奇岩と桜が楽しめる名所となっています。2009年には当会が桜の生育状況を調査し、管理計画をつくりました。

各種の桜が織り成す花のグラデーションに来園者は感動します。



小江川地区 埼玉県熊谷市

2010年に桜を植えて荒地をきれいにしようと小江川自治会を母体とした市民協働による事業が始まりました。この事業は10年計画で、'神代曙'を10,000本植樹して熊谷市に新しい桜の名所づくりを目標に掲げ、地区住民とボランティアが育成や草刈りに汗をかきました。

現在では、里山を周回できる全長12kmのコースが整備され、その中に桜並木5kmのハイキングコースがあり、県内外からも多くの方が訪れる名所になりました。



慈光寺里桜の里 埼玉県ときがわ町

慈光寺を巡る参道4kmに約50種類、300本の桜が植栽されています。1986年からときがわ町出身の当会会員が中心となって植栽し育ててきました。

3月下旬から4月下旬まで、参道の所々で色とりどりの桜が咲き、杉木立の中に延びる一本の桜の帯は遠くからも目を引きまします。中には'太田桜'や'松前早咲'のような珍しい品種も見られます。

古刹を訪ねるハイキング気分でお花見が楽しめます。



石上寺 埼玉県熊谷市

石上寺は江戸時代に'熊谷桜'の寺として知られていました。忍城主は観桜の宴を催し、江戸からも歌人墨客が沢山集まったといわれています。

残念なことに荒川の洪水で'熊谷桜'は流失してしまいましたが、結城農場より入手し、鐘楼の周りに植樹したことで、石上寺は百数十年ぶりに'熊谷桜'の寺に復活しました。その後60本以上が植樹され、昔の様に大勢の人が'熊谷桜'を楽しんでいます。

(写真提供：横田透)



佐久間ダム 千葉県鋸南町

鋸南町は、日本水仙が咲き終わった直後に続けて咲くように‘河津桜’を2001年から植え始め、今では町内の各所で花が咲き揃います。千葉県鋸南日本花の会が植栽や育成管理を担い、地域の環境を良くしようと活動しています。

この活動を行政も支援しており、町全体や佐久間ダム周辺を桜と四季折々の花が咲く花園を目指したまちづくりを協働で進めています。

(写真提供：鋸南町)



芝山公園 千葉県芝山町

昭和60年代に当会から配布された桜の苗木500本が植栽されています。

植栽後、約40年が経過し、千葉県内でも有数の桜の名所となり多くの方が訪れる桜の園となりました。芝山町は古墳密集地域で知られ、この公園に隣接している古墳・はにわ博物館に町内から出土した埴輪などを納めており、歴史や文化に触れることもできる貴重な場所となっています。

また、はにわ街道と呼ばれる県道にも、当会が配布した桜が植えられています。



皇居乾門 東京都千代田区

昭和天皇の在位60年を記念して、皇居乾門入口前の両脇に‘八重紅枝垂’の大木を寄贈し植えられました。これに合わせるかのように周辺にも‘八重紅枝垂’が植えられ、花の咲く時は一帯が美しく彩られます。

大きく育った一本は江戸城を偲ばせる門と調和し、その見事さに観桜客を魅了します。



北の丸公園 東京都千代田区

今上天皇が皇太子時代の1993年に、ご成婚をお祝いして36種類、76本の桜を公園内に植樹しました。植樹計画を立てて、開花時期が同じ品種を広場や園路沿いにまとめて植えてあります。

場所ごとに一齐に揃って咲くように植栽場所を考慮してあるので、様々な品種が間近で見られ、見応えのあるお花見が楽しめます。

植樹



皇居外苑 東京都千代田区

昭和天皇の在位60周年を記念して、1986年に皇居や江戸城のお濠沿いなどにたくさん桜が植えられました。そのひとつに皇居外苑広場の馬場濠に沿って一列に植栽された‘一葉’があります。

十分な植栽間隔がとられていて、勢いよく枝が伸びているので、今では見事な花を咲かせています。オフィス街にあってオアシス的な存在となっています。



国立劇場 東京都千代田区

周辺には‘染井吉野’の名所として知られる千鳥ヶ淵緑道や千鳥ヶ淵公園などがあり、春は桜で彩られます。このような地域の中にアクセントとなる桜を加えようと、‘染井吉野’よりもわずかに早く咲き、花の紅色がわずかに濃い‘神代曙’と‘小松乙女’の植樹を提案しました。

3月下旬から4月上旬に催される「国立劇場さくらまつり」では、多くの方がこの桜を楽しんでいます。



足立区 都市農業公園 東京都足立区

足立区では区制50周年を記念して、かつて桜の名所であった荒川の五色桜を復活させるために、ワシントンD.C.にあるポトマック公園や米国国立樹木園内の桜から穂木の提供を受け、結城農場で増殖して、区内にある公園や教育施設などに植えました。

都市農業公園で見られる約40種類、300本の桜は、最初に増殖した桜が植えられており、30数年が経過し区を代表する桜の名所となっています。



舎人公園 東京都足立区

舎人公園のある足立区は、明治期には「荒川の五色桜」や「桜堤」と呼ばれ、江戸時代から引き継がれたサトザクラ類を中心に植栽した桜の名所が多数ありました。この堤のお陰で歴史的にも貴重な多くの桜が保護され散逸を免れました。

舎人ライナー開通に合わせて、2005年に舎人公園植栽計画を行った際には、由来のある桜を用いました。千本桜祭りや桜の開花時期には多くの家族連れで賑わう憩いの場となっています。



明治神宮外苑 東京都新宿区

当会創設者の故河合良成氏が、都心でも桜の名所をつくりたいと、明治神宮外苑に桜の植樹を指示しました。1970年に枝垂桜や‘関山’、‘普賢象’、‘一葉’など1,500本の桜を明治神宮外苑や聖徳記念絵画館前のグラウンドの周囲に当会職員全員で植樹しました。

植栽してから約半世紀が経過し、桜は見応えのある大木となり、明治神宮外苑を4月上中旬から下旬まで各種の桜が彩ります。



お台場旧防波堤 東京都港区

昭和初期に防波堤として埋立造成された場所です。その後の貯木施設としての役割も終え、殆ど手付かずの状態でしたが、2014年にお台場海づくり協議会が東京都から許可を得て桜を植栽することになりました。協議会からの依頼を受けて、臨海地に向く品種の選定、植栽計画、植栽を実施しました。植栽後も、定期的な経過観察や管理作業の指導を実施しており、お台場水域の更なる魅力向上に向けて菜の花の植栽なども進めています。



目黒川 東京都品川区

1980年代の初めに、五反田駅近くを流れる目黒川の河川改修計画を機に美しい町並みにしたいと地元住民からの要望を受けました。当会では桜の品種選定や配植などのアドバイスをを行いました。このアドバイスを元に3月上旬から4月下旬まで咲く桜を中心に、様々な桜を楽しめるように品種を組み合わせています。



こどもの国 神奈川県横浜市

1959年4月の皇太子殿下(現上皇陛下)のご結婚を記念して、全国から寄せられたお祝い金を基金に、1965年5月5日に開園しました。園内の施設や遊具の周りでは四季折々の花木や草花が楽しめます。桜園には結城農場から寄贈した桜が数多く植えられています。早春に咲く‘河津桜’から4月下旬まで咲く‘御衣黄’、‘関山’など、約50種類、1,000本の桜が咲き誇ります。

(写真提供：こどもの国協会)



富山県 中央植物園

富山県富山市

1993年に日本海側初の総合植物園として開園された植物園です。植物園になる前の1970年代に植えられた桜は、現在、'染井吉野'と八重桜の二つの桜並木となり、残雪の立山連峰を背景として多くの来園者を集めています。

また、園内には富山県内で発見・命名された新品種の桜類が植栽され、地域性と固有性の高い品種が展示されています。当会とは、品種保存や情報の交流なども図っています。(写真提供：富山県中央植物園)



志乎・桜の里 古墳公園

石川県宝達志水町

志乎・桜の里古墳公園は6つの古墳群から成り立ち、周辺に整備された散策路に沿って'染井吉野'など36種類、約1,000本の桜が植えられています。

当会は、1996年に品種の策定と植栽計画を行いました。'染井吉野'が咲き終わった後にも長く楽しめるように八重桜を加えたこともあって、古墳周辺を桜が彩る名所として県内外に知られ、春には多くの人が訪れます。

(写真提供：©2019hodatsushimizu-town)



天龍峡桜街道

長野県飯田市

1998年に天龍川左岸に開通した2kmの道路沿いには、同じ時期に開花する紅色の'関山'、黄緑色の'鬱金'、薄紅色の'花笠'など10種類、200本の八重桜が植えられ、地元の「さくら並木愛護会」が当初より育成管理を続けています。

桜が見頃となる4月下旬に桜祭りが開催され、ライトアップされた夜桜も楽しむことが出来る観光名所となっています。



千曲川河川公園

長野県小布施町

千曲川右岸堤防と上信越自動車道の間の空き地を埋め立て、1997～1998年に八重桜の'一葉'を植えて桜堤をつくりました。約4kmに530本が複数列で植えられていて、それらは今では大きく育ち、他所にはない桜堤になっています。

千曲川と北信濃の雄大な風景によく調和しています。



さくらの里 静岡県伊東市

大室山の山麓約4haに40種類、1,500本の桜が植栽され、広い園内では2月から5月まで次々と開花し、夏の終わり頃からは‘十月桜’も咲き出すので、一年のうち約半年は桜が楽しめます。その一部は昭和50年代に当会が配布したもので、今では伊豆半島を代表する桜の名所となりました。大室山近くの道路沿いにも桜が咲いて沿道を彩ります。

(写真提供：伊東市観光協会)



東泉寺 愛知県新城市

東泉寺の裏山の急な斜面地を桜の名所にするために開墾を始めました。

桜を管理するための道路や伐採した樹木の撤去を終え、すべての準備が整った2011年3月に、地域住民やボランティアが桜の苗木を担ぎ上げて、所定の場所にヤマザクラや‘神代曙’の苗木を植栽しました。

8年が経過し、樹も大きくなり、東泉寺の斜面地は見事な桜の園に生まれ変わりました。



さざなみ公園 岐阜県恵那市

恵那峡のダム湖に半島のように突き出した公園です。‘染井吉野’を中心に約160本が植えられています。桜は植えられて40年が経ち、隣り合う枝が干渉しあったり、サクランボてんぐ巣病に罹ったりなど、障害を生じ始めていました。

2017年に恵那市から生育調査を受託し、園内の桜の保全や品種転換等について提案・指導協力し、今ではそれに基づいた管理がされています。

(写真提供：恵那市)



平田川 桜の通り抜け 滋賀県彦根市

全国的に有名な造幣局(大阪市)のような八重桜の通り抜けを彦根市に造ろうと活動を始めました。2001年から住宅地内を流れる平田川の堤防両岸に22種類の八重桜など120本の苗木を植栽し、地域住民120名が育成管理を続けてきました。

大きく成長した現在では、桜まつりが開催され、彩り豊かな開花時期の風景は、町内外の人々の憩いの場として親しまれています。



京都府立植物園 京都府京都市

1924年に「大典記念京都植物園」として開園した我が国で最も古い公立総合植物園で、まもなく開園100年を迎えます。古くは江北(東京都足立区)の桜の分植を受けたり、平野神社など京都由来の品種を多く栽培してきました。現在は200品種超を保有し、桜の名所の多い京都においても群を抜く品種の多さで人気となっています。京都由来の‘大原渚’ほか希少な品種も保有しています。

(写真提供：京都府立植物園)



造幣局 大阪府大阪市

1883年に一般開放してから137年が経過した今でも、桜の保全や植替えなどを行いながら維持され続けています。

通り抜けの道順に合わせて花が咲くように、種類の選定や相談、提案を行っています。敷地内にある通り抜けには結城農場で生産した桜が植栽されています。

ここでしか見られない貴重な桜もあります。花が咲く時期に合わせて1週間開放していますので是非ご覧ください。



狭山池ダム 大阪府大阪狭山市

狭山池ダムはわが国最古のダム形式の溜池で、その起源は約1,400年前に遡ります。

狭山池一帯を整備するにあたり、1997年に大阪府より委託を受け「狭山池ダム植栽基本設計」をつくりました。

ここは大阪府の南部に位置することから、‘染井吉野’よりも早く咲く‘越の彼岸’をダム湖の周囲に植えて、大阪の春を先取りする計画を立てました。今では他品種を含めて約1,000本の桜が咲き誇っています。

(写真提供：大阪狭山市)



かみごおり桜園 兵庫県上郡町

21世紀の始まりを記念して10種類、1,250本の桜が植えられ、開花時には桜が山肌を染め上げます。

土壌条件が桜の生育には適していませんでしたが、土壌改良を十分に施した結果良く育ち、現在では3月から4月下旬までの春の桜と、9月下旬から咲き出す‘十月桜’による秋のお花見も楽しむことができる桜の名所になっています。

(写真提供：鶴田誠)



愛宕山公園 島根県出雲市

戦国時代の平田城址を整備した公園です。展望台から宍道湖や出雲平野が見渡せる景勝地で、30年以上に亘って、雲州平田日本花の会が様々な桜を植樹、育成しました。'染井吉野'をはじめ、4月上旬から5月上旬まで約1ヶ月間、お花見が楽しめる場となっています。また、小動物園があるので、園児や児童が動物と触れ合うこともできる地域の憩いの場となっています。

(写真提供：出雲市観光協会平田支部)



世羅甲山 ふれあいの里 広島県世羅市

圧倒的なボリュームの230本の枝垂桜の並木が園の中心まで続きます。人の背丈ほどまでに枝垂れる様は、まるで淡紅色のカーテンのようです。この景観を見に毎年多くの来場者で賑わいます。

また園内には4月上旬から4月下旬まで咲く桜がエリアごとに植えられているため、4月いっぱい桜を楽しむことができます。

(写真提供：神石高原リゾート)



城山歴史公園 山口県上関町

南北朝から戦国時代にかけての瀬戸水軍の一つである村上水軍に縁りのある山城で、発掘調査後に整備してつくられた公園です。温暖な気候に適した早咲きの'河津桜'が130本植えられています。山頂部は植栽基盤の影響により、株立ち状の樹形となっているため、早咲きの水仙とともに身近に花と触れ合えます。

早春に開催される桜祭には多くの花見客が訪れ、地域振興にも貢献しています。



高知県立 室戸広域公園 高知県室戸市

大規模な造成により整備された公園は、桜の成育にあまりふさわしくない土壌でしたが、「むろと2,000本桜の会」が2004年から土壌改良をしながら、32種類、1,800本を植樹、育成してきました。

植栽5年後から桜祭りが開催され、年を追うごとに多くの花見客が訪れるようになり、今では地域の活性化にも寄与しています。

(写真提供：鶴田誠)

保全・再生

桜は樹齢や環境変化によって樹勢が衰えてしまうことがあります。衰退した桜の樹や桜の名所を再び見応えのあるものにする取り組みや、歴史的文化的に価値のある桜の古木・名木の樹勢回復も手掛けています。



城山公園 栃木県茂木町

町の中心にある城山公園は桜、ツツジ、紅葉の名所として親しまれてきましたが、シラカシや雑木類などが繁茂し、立ち寄り難い雰囲気になっていました。

当会の提言に基づき、町は2008年から桜や雑木類の間伐、サクラ類てんぐ巣病にかかった枝の切除、施肥など桜の樹勢回復処置に取り組みました。また道路整備も実施し、桜以外にもロウバイやヒガンバナなど四季折々に花が咲き、多くの人に親しまれる公園になっています。



千葉県立 青葉の森公園 千葉県千葉市

市の中心にある約54haもの広い公園です。1993年～1995年にかけて園内の桜の樹勢診断と植栽の見直し設計を行いました。

園にあった既存の‘染井吉野’と同じ時期に咲く‘アメリカ’を園の入口に集中的に配植したり、‘ピンククラウド’など珍しい桜を取り入れたりして公園に特徴づけました。

植栽後約30年が経過し、今ではゾーンごとに開花期の異なるタイプの桜が咲き誇り、見応えのある桜の名所となっています。



隅田公園 東京都台東区

全国的にも桜の名所として知られていますが、より桜が健全に育ち魅力的な名所にしようと、2016年に「隅田公園サクラ樹勢診断・保全計画」を取りまとめました。

これを元に、桜の生育環境を整えるために環境改善と樹形管理に取り組み、樹勢回復と保全を図ることで、海外から来る観桜客の期待にも応えられるように整備が進められています。

(写真提供：台東区役所)



レーガンザクラ 東京都足立区

アメリカ合衆国で挿し木増殖された桜で、1982年にナンシー・レーガン大統領夫人から日米友好の証として贈られ、鈴木元都知事により「レーガン桜」と命名されました。この桜の樹勢が衰退してきたことから、2014年に足立区から委託を受けて樹木診断・土壌調査を実施し、再生・保全の方法を提案しました。

隣接していた‘染井吉野’の抜根の他、周辺樹木の整備、枝の切り戻し、土壌改良を経て、樹勢回復が進行中です。



さくら百華の道
神奈川県座間市

畑地灌漑水路の完成記念として1960年代に植栽した‘染井吉野’が大きく育った約1.6Kmの桜並木でした。桜の老木化や周辺の宅地化に伴い、住民と行政の協働植替え事業がスタート。当会も協力しながらワークショップを重ね、2010年に基本計画を策定。4年間の工事を経て、64種類、230本の桜が彩る魅力的な緑道に変貌しました。完成後も地元NPOの維持管理に協力しています。



**横浜市
児童遊園地**
神奈川県横浜市

起伏に富んだ敷地を持つ自然豊かな都市公園で、斜面地を中心に約650本が植栽されています。その多くは1970年頃に植栽されたもので、樹勢衰退が目立つようになってきたため、横浜市からの委託で2017年に樹勢衰退の原因調査を実施し、管理・植栽方針を提案しました。

サクラ類てんぐ巣病の除去や密度調整、施肥などによる桜の樹勢回復の他、枝の更新剪定や桜見本園の新設によって魅力の向上が図られています。



臥竜公園
長野県須坂市

市営の動物園や博物館が併設された名勝臥竜山と竜ヶ池からなる公園で、‘染井吉野’を中心に約800本が植栽されています。「日本の名松100選」の松や残雪の北信五岳との組み合わせ、水面に映る桜など他に類がない桜の景観が楽しめます。2003年に桜と花のまちづくり基本計画を策定し、桜守育成や桜のカルテづくりなどを実施しました。その後も、臥竜公園桜守の会や須坂創成高等学校の生徒と一緒に桜の保全活動を進めています。



高遠城址公園
長野県伊那市

公園内には約1,500本の‘高遠小彼岸桜’が生育し、「天下一の桜」と称していますが、近年、樹勢が衰えるものが目立つようになりました。市では歯止めをかけるべく手を尽くしていました。

それと歩調を合わせるように桜の保全管理計画の委託を受け、2016年から樹勢調査や位置図を作成し、3年目の最終年には、これからも長きにわたって桜の名所であるよう報告書を取りまとめました。



糸川沿い 静岡県熱海市

市街地の中央を流れる糸川沿いには‘寒桜’（熱海市では「あたま桜」と呼ぶ）が植えられていましたが、以前はあまり目立たない存在でした。

2008年から3年かけて桜並木を整備し、今では糸川に沿って両側に57本が植えられ、1月上旬には開花が始まり、2月の最盛期には桜まつりが開催されます。早咲きの桜の名所としてここを訪れる人は年々増えています。



桜淵公園 愛知県新城市

江戸初期から桜の名所と知られた桜淵公園は、隣接する豊川の渓谷美から「三河の嵐山」との異名があります。樹勢の衰えを危惧した三河の日本花の会が地元有志とともに桜保全に取り組みました。

管理の大切さを訴えながら、秋には大勢の市民と一緒に樹勢回復のイベントを10年限定ではありましたが開催するなど、街の活性化にもつながった公園となっています。

（写真提供：三河の日本花の会）



八幡高見地区 福岡県北九州市

八幡東区の高見地区は、企業の社宅が集中する地区でしたが、地区全体の街並みを整備するにあたり、今まであった桜を活かした特徴あるまちづくりを進めることになりました。1996年に「八幡高見地区緑花基本構想」を取りまとめ、これを元に地区内の道路別に桜の品種を変えて植えるなど、桜の映える街並みづくりが実施されています。

（写真提供：北九州市）



市房ダム湖周辺 熊本県水上村

水上村は、ダム湖周辺に植栽した約1万本の‘染井吉野’を中心に、日本一の桜の里づくりに取り組んできました。

桜の樹勢衰退が目立ち始めたため、1997年から2001年にかけて、成育密度管理、サクラ類てんぐ巣病罹病枝の切除、施肥などの樹勢回復処置を実施。その結果、桜の見応えが増し、3月下旬の桜まつりには大勢の花見客が訪れ、県下有数の桜の名所地として賑わっています。

（写真提供：水上村）

弱ってしまった桜を再び健全な状況に戻すのは大変な労力と時間がかかります。美しい桜の名所づくりのマニュアル作成や講習会の開催など、地元住民の皆さんと一緒に頑張って大事な桜を後世に継承する活動を行っています。

保全・再生 桜守養成



釧路サクラ守 創造塾

北海道釧路市

市内には桜を守るボランティア団体が6つ存在します。「緑いっぱい市民運動」世話人会では、各団体の更なる活動の充実・拡大を図ると同時に、釧路らしい桜の良さを啓発するために地域の桜を積極的に知り・楽しみ・守る人材育成として市民講座(サクラ守創造塾)を開催しています。その講師として2018年から協力する他、釧路で誕生した‘釧路八重’の保護・育成・普及に関するアドバイスを実施しています。



国立療養所 松丘保護園

青森県青森市

松丘保護園はハンセン病療養施設として1909年に設立。園内には樹齢100年を超える‘染井吉野’を含め約600本の桜が植えられています。入所者の皆さんはこの桜を友達や家族、わが子の様に大切にしています。青森日本花の会は、7年前から入所者と一緒に、桜の植栽や弱っている桜の樹勢回復のお手伝いをしています。また、マリーゴールドやアサガオなどを植え、四季の移り変わりを楽しんでいます。

(写真提供：逢坂淳)



二本松市

福島県

市内には「合戦場の枝垂桜」や「中島の地蔵桜」などの一本桜が多数点在する桜の郷です。市では市内にある多数の桜の名所を活かしながら、市民との協働のまちづくりの理念の基に、桜による地域活性化に取り組んでいます。そのため、枝垂桜などの苗木を配布するとともに、2013年より桜の植樹・維持管理講習会を開催し、市民の関心を喚起しています。

(写真提供：二本松市)



荒川桜づつみ

栃木県さくら市

2006～2007年に喜連川地区を流れる荒川の左岸約1.2kmに102本の‘一葉’をオーナー制度により植樹しました。それぞれの桜にはオーナーの名前や桜への思いが書かれたプレートが付けられています。

植栽後、成育不良樹が見られたため、市から依頼を受けて、毎年、桜のオーナーや地域住民による施肥作業を指導し、現在では見事な八重桜の並木となっています。



磯部稲村神社と 里山の山桜 茨城県桜川市

櫻川磯部稲村神社は古来より桜の名所として知られ、周辺一帯は国の名勝に指定されるとともに、境内に生育している11種類のヤマザクラは1974年に国の天然記念物にも指定されました。

桜川市では自生するヤマザクラを活かしたまちづくりを進めています。桜の苗づくりやヤマザクラの保全活用において、当会は市と市民の活動に協力しています。



利根町 桜つつみ保存会 茨城県利根町

住民の提案で利根川の堤防に沿って桜堤がつくられました。公募した182人が里親となり、2005年3月に‘染井吉野’を植樹し、850m、182本の桜堤が完成しました。今では桜が大きく育ち、茨城の宝125選にも選ばれています。

当会は利根町桜つつみ保存会のメンバーと一緒に桜の保全管理に携わっています。

(写真提供：吉村匡弘)



幸手権現堂桜堤 埼玉県幸手市

関東の桜の名所として有名な幸手権現堂桜堤は、約1,000本の‘染井吉野’が1kmにわたって咲き誇ります。第二次世界大戦の終戦直後に植えられたものが多く、樹勢の衰えが目立ち始めたため、1998年からNPO法人幸手権現堂桜堤保存会と一緒に樹勢回復や保全活動に取り組んでいます。保存会は4月の桜の他にも、6月のアジサイ、10月のヒガンバナ、1月のスイセンと、四季折々楽しめるよう公園全体の維持管理も行っています。



えどがわ桜守 エリアマスター 養成講座 東京都江戸川区

江戸川区では1970年から花や緑を通じたまちづくりを進めています。協働によるまちづくりを展開するにあたり、桜を守る活動を通じて、自然や環境、地域に関心を持ってもらいたいという(財)江戸川区環境促進事業団(当時)の要請を受け、2010年から桜守エリアマスター養成講座の運営、2014年からは桜守養成講座の講師として業務に携わりました。

現在、それらの修了生が各々の居住地域でリーダーとして活躍しています。



上野恩賜公園 東京都台東区

上野恩賜公園は江戸時代からの桜の名所で、明治時代に公園化された後は、その時々で東京都や地域が中心となって桜が植えられてきました。桜の保全活動にも熱心で、上野桜守の会を組織して桜の保全のみならず、増殖、学習、保全のための募金活動などを展開しています。当会は公園内の桜の品種同定調査やガイドマップづくり、樹勢回復、後継樹の接ぎ木増殖などのお手伝いをしています。



国立市大学通り 東京都国立市

1933年に一ツ橋大学通りに‘染井吉野’を中心にヤマザクラや里桜など約200本の桜が植えられました。市民に親しまれている桜並木のうち、樹勢が弱り始めていた22本を救うために住民と行政が協働で再生活動を行いました。当会は桜の基礎知識や樹勢回復方法をお手伝いしました。

住民が主体となった樹勢回復の事例として全国で注目され、これを機に、各地で弱った桜を救う活動が活発となりました。



神奈川県立 三ツ池公園 神奈川県横浜市

面積約30haで、約80種類、1,600本の桜が楽しめます。公園の名前は江戸時代に灌漑用水として利用された三つの池があることに由来します。

小高い丘陵と池を配した公園は1957年に県立公園となりました。当初から桜の名所として親しまれていましたが、それを継承するために「さくら100年計画」を掲げています。

2016年から桜の保全と公園の景観に調和した桜の見せ方、桜守の育成(三ツ池公園さくらマスター講座)のお手伝いをしています。



千恵子桜 石川県小松市

1957年にブラジルへ移住することになった女性の幸せを願って、親族が植えたと言われる枝垂桜です。桜の名称はこの女性の名前に因んでいます。

住民は彼女のことを想いながらこの桜を大切に育てています。桜の名所づくりアドバイザーも保全管理に携わり、地元ファンクラブもでき、毎年の施肥作業や簡易柵の設置、周辺木の伐採を行っています。樹齢が60年を超し、樹高は17mにもなり、小松市の文化財にも指定されました。(写真提供:立花造園)

植樹

海外での桜の名所づくり

海外に送った桜は 45ヶ国 20万本になります。

※近年は各国とも植物検疫の制限条件が多くなっており、

日本から海外に桜の苗木を送ることは非常に難しくなっています。



台湾国立中央大学 台湾

友好のシンボルとして、中央大学学員日華友好会が2004年から日本の桜を台湾に寄贈しています。亜熱帯に属する台湾でも生育可能な品種の選定を含め、輸出に関する協力を実施しました。国内での栽培地検査、台湾での隔離栽培を経た桜の苗木が、中正祈念堂を始め、桃山小学校、他大学など、台北を中心に植栽されています。‘大寒桜’、‘修善寺寒桜’、‘大漁桜’、‘河津桜’などが開花し、現地の人々にも楽しまれています。



武漢桜公園 中国

1997年、青森市にある銀行が武漢市の駐在事務所開設を機に、世界一の桜の園をつくりたいと、樹木医である齋藤嘉次雄氏に依頼しました。2001年の東湖桜花園の開園に漕ぎ着けるまでには、桜の生育にあまり適さない気候や土壌だったので、品種の選定や生育環境の改善、管理方法、文化の違いなど様々な課題を一つ一つ丁寧にクリアして、桜を植えてきました。現在では‘染井吉野’、枝垂桜など60種類、10,000本以上の桜が見られる桜の園となりました。



サバンジュ大学 トルコ共和国

2007～2009年に9種類、2,600本の桜をトルコのイスタンブール市内にあるサバンジュ大学に寄贈しました。2007年には当会が現地で植栽指導をしたことや、元々の栽培技術が高かった事もあり、苗木のほとんどが根付きました。植栽後10数年が経過し、4月上旬に咲く‘小松乙女’や二季咲きの‘十月桜’なども大きく育ち見事な花を咲かせるようになり、キャンパス内のいたるところで学生達が桜を楽しんでいます。



バンクシアパーク オーストラリア

1980年に大平総理大臣(当時)によって日豪友好の記念として寄贈された桜です。2016年からメルボルン日本人会が中心となって「桜ピクニック・デー」が開催され、同時に日本人の有志“チェリー・フレンズ”によるボランティアでの管理が始まりました。“チェリー・フレンズ”からの要請で2018年から管理に関するアドバイスを実施しています。以降、公園や役所との連携も整い始め、「桜ピクニック・デー」は年々、賑わいを見せています。



ベルリン壁跡 ドイツ

東西ドイツの統一を果たしたベルリン市へ1991年から数年にわたり合計で苗木6,000本を寄贈しました。テレビ朝日が企画したベルリンの壁跡に桜を植える「さくらキャンペーン」に協力したものです。

桜の苗木は、壁跡以外にも市内の公園や幼稚園、ポツダム市など周辺自治体などにも植えられました。写真の桜並木は、ベルリンに隣接するテルトウ市内の壁跡に植えられた‘関山’です。

(写真提供：Berlin Easy Stay Travel Consultation)



アルスター湖畔 ドイツ

ハンブルグ市の日本人会(当時)の依頼を受けて、1977年から3年間かけて5,000本の苗木を寄贈しました。市内を流れるアルスター河畔をはじめ、いくつかの公園に分けて植えられました。

広々とした公園に植えられた桜は、彩りも鮮やかで、市民が桜を見ながら散歩する姿が見られます。



キューガーデン イギリス

1993年に新しい里桜類(浅利政俊氏作出の松前系品種)の穂木58種類をイギリスのウィンザー公園に贈りました。

後にこれらの桜はイギリス国内で増やされ、ロンドン近郊のキューガーデンなど、国内の主だった植物園に分与され植えられています。



ベルサイユ市 フランス

1981年、日仏友好の証として、フランスのベルサイユ市に5,000本の苗木を寄贈しました。市内の公園や病院などの公共施設に植えられています。写真は市立中央病院に咲く八重桜の‘鬱金’などです。

災害復興支援

災害復興支援を目的に、公共性や社会性の高い場所に桜の名所づくりを進めている地域へ桜の苗木を配布し、根気強く被災地の復興を支援するとともに、配布後のアフターフォローも継続しています。



ゆりあげ 関上地区 宮城県名取市

観光物産協会は、東日本大震災の津波被害で多くの方々が亡くなった関上地区で、津波を受けながらも翌年開花した‘染井吉野’を「なとり復興桜」と名付けました。また、この個体から苗木を育成し、地区の復興に合わせてオーナー制度により植樹するため、全国に協力を呼び掛けています。2018年春から名取川河口や慰霊の広場など、整備の進捗に合わせて植樹が進められています。

(写真提供：名取市観光物産協会)



宮城県 農業高等学校 宮城県名取市

東日本大震災で被災した同校は、防災上の理由から内陸部に移転しました。津波で何もかもが流し去られた旧校庭の八重桜は美しい花を咲かせ、生徒達の心を慰め勇気づけてくれました。

育成した苗木は、2018年春に新設校開校を記念した植樹会で、同校生徒が育成した苗木とともに植栽されました。桜は復興に取り組んできた先輩達の熱い想いや地道な活動を新入生に伝えてくれることでしょう。



女川町 宮城県

漁業で盛んな街にふさわしいと‘大漁桜’を中心に、東日本大震災後の2015年に開通した石巻線の浦宿から女川間の線路周辺に桜を植栽しました。新住宅地や新庁舎、メモリアルパークなどは、女川桜守の会が町民やボランティア団体と一緒に、当会の植栽アドバイスやサポートを受けながら、新たな桜の街として復活させています。



南栗橋地区 埼玉県久喜市

東日本大震災の液状化の影響で人口が減少しました。2017年11月、町内に再び活気を戻そうと、入手が難しい‘静桜’を選択し、市と住民が連携しながら‘静桜’から増殖、植栽を行い、日本で唯一の「静桜の町」を目指しています。

自治会の所有地で台木を育生し、当会は増殖・管理について指導を行い、今後の配植計画についてもアドバイスをしながら町の復活を支援しています。

全国には桜の名木、古木が数多く存在しますが、樹齢や生育環境の変化によって樹勢が衰えている桜もあります。当会は地元住民や行政と一緒に、樹勢が衰退した桜の樹勢回復作業を数多く手がけてきました。

老齢木の樹勢回復



大島のサクラ株

東京都大島町

オシマザクラとしては最も樹齢が長く、樹齢800年とも言われています。1935年に国の特別天然記念物に指定されました。

2004年と2005年に大風で主幹から伸びた大枝が折れたこともあり、2004年から樹勢調査、保全計画ならびに園路整備、その後は環境影響調査などを東京都から2013年まで受託しました。

以降、この桜の保存活動に協力しています。



山高神代桜

山梨県北杜市

山高神代桜は、樹齢2,000年といわれる日本一古いエドヒガンの大木で、1922年に桜としては初めて国の天然記念物に指定されました。

2001年に武川村(現北杜市)より樹勢調査を受託し、2002年度から4年間にわたり、樹勢回復事業ならびに環境整備事業に携わりました。今では樹勢を取り戻し、地元住民や観桜客を楽しませています。



う川古代桜

石川県小松市

北陸鉄道小松線の終点であった鶯川遊泉寺跡地の一角に、樹齢80年以上といわれる‘染井吉野’の古木が残っていました。

樹勢の衰えが酷いことから伐採も検討されましたが、県内でも数少ない‘染井吉野’の古木を残したいと、こまつ日本花の会に相談が持ち込まれたのをきっかけに樹勢回復作業が始まりました。今では樹勢を取り戻し、毎年見事な花を咲かせています。

(写真提供：立花造園)



高森観音堂の枝垂桜

長野県富士見町

高森観音堂の境内にある枝垂桜は樹齢約250年ともいわれ、樹高約10m、目通り幹周3.8mの巨木です。

茅葺屋根の御堂と合わさった見事な桜の景観は、訪れる人の感動を呼んでいましたが、樹勢の衰退が見られるようになりました。

富士見町から樹勢調査(2007年)と樹勢回復工事(2008年)の依頼を請けて実施し、徐々に回復しています。

学び舎の桜プロジェクト

～桜を知ろう、守ろう、救おう～

思い出深い小学校にある桜を、当会職員や桜の名所づくりアドバイザーが
出向いて、児童と一緒に桜の成育状況調査、花数調査などを行っています。
またPTAや地元の方々の協力を得て樹勢回復作業なども実施しています。

栃木県立小山北桜高等学校

栃木県小山市



桜とのかかわり

小山市は‘思川’を市内ブランドとして指定して、2000年から思川河畔を中心に市内各所で里親制度にて植栽を続けています。

活動内容 野外（実技）

- ・学校敷地内で‘思川’の挿し木による増殖
- ・高さ3mまで育生管理をして新規植栽や補植に活用
- ・市内育ちの‘思川’を提供し続ける仕組みづくり

日高市立高麗川小学校

埼玉県日高市



桜とのかかわり

校庭に植えられている桜の多くが創立時に植えられたもので、4月の入学式の際には新1年生は必ず桜を背景に撮影しています。

活動内容 野外（実技）

- ・桜の健康診断（樹高、幹周り、枝張りの測定、病害虫の発生状況など）
- ・桜の保護活動（施肥、ひこばえ除去、剪定など）

福井市春山小学校

福井県福井市



桜とのかかわり

樹勢の衰退した校庭の桜に、土壌改良や弱った枝の剪定による更新などの樹勢回復が行われています。

活動内容 野外（実技）

- ・桜の健康診断（樹高、幹周り、枝張り、スケッチなど）
- ・桜の生育観察（樹勢調査、花数調査、病害虫の観察、紅葉の観察など）
- ・桜の保全活動（施肥、土壌改良、ひこばえや胸吹き枝の切断など）

津山市立秀実小学校

岡山県津山市



桜とのかかわり

校庭の周囲に植えられた桜を生命の尊さを学ぶ場と位置づけて授業のカリキュラムの中に組み込んでいます。

活動内容 野外（実技）

- ・桜の健康診断（樹高、幹周り、枝張りの測定、病害虫の発生状況など）
- ・桜の保護活動（施肥）
- ・花数調査

新しい桜の品種を活用して桜の名所づくりを進める住民団体や地方自治体をサポートすることを目的とした「桜の園芸品種認定制度」を設けています。この制度や認定品種の詳細をホームページで公開しています。

園芸品種認定制度



認定 No. 001

華加賀美



認定 No. 003

加計桜



認定 No. 004

ひたち雅



認定 No. 006

森小町



認定 No. 007

弘前雪明かり



認定 No. 008

天賜香



認定 No. 009

与謝野晶子



認定 No. 011

明德慈眼桜



認定 No. 012

極楽寺桜



写真提供：森田和市

認定 No. 013

思伊出桜



認定 No. 015

清明さくら



認定 No. 016

夢萩桜



認定 No. 017

たつご里桜



認定 No. 018

勝浦雛桜



認定 No. 019

今津紅寒桜

園芸品種認定制度を活かした名所づくり

新しい園芸品種は地域の活性化に大きく貢献することがあります。この制度で認定された桜は20品種を超えます。どれも地域に根付いた桜で、他では見られないご当地桜として有効に活用されています。



認定 No.002
掛川桜
静岡県掛川市

市民が発見した新しい品種で、2005年から無償で育成した苗木を市の許可を得ながら掛川城の南側を流れる逆川沿いに植樹し始めました。現在は両岸、約2kmにわたり約230本が植えられています。品種名は市緑化推進委員会により命名されました。

‘染井吉野’が開花する前の3月中旬に開花することから、近年はライトアップにより夜桜も見物でき、多くの花見客が訪れます。



認定 No.010
横輪桜
三重県伊勢市

江戸時代後期から横輪町内のお寺にあったとされる一重八重咲の美しい桜で、ひこばえから苗木を育成できるため、当初は切り花用の桜として町内各所に植栽されていました。その後、地域活性化の素材として活用しようと、地域住民による保全や増殖が行われ、現在では開花時期に桜まつりが開催されて、多くの花見客が訪れています。



認定 No.014
蓬莱桜
山口県防府市

山口県防府市立向島小学校にある早咲きの品種で、樹齢は100年以上とされ、山口県の天然記念物に指定されています。樹の大きさや樹形から、カンザクラ類の品種では日本一の個体と推定され、花時には多くの見学者が訪れています。近年は地域住民による保存会が設立され、増殖した苗木の植樹も進められています。

(写真提供：中村裕三)



認定 No.020
大磯小桜
神奈川県大磯町

原木は福島市内の旧家にある樹齢300年以上とされる美しい花を咲かせるエドヒガンの一樹で、同家出身の町民が無償で苗木を育成し、町の許可を得て運動公園などに植樹してきました。園芸品種の認定には、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県にルーツを持つこの桜が、「復興の一助になれば」という想いが込められています。

優良品種の紹介

結城農場の桜見本園には日本各地や海外から収集した約350品種の桜が保存されています。その中から皆さんが計画する名所づくりの目的に沿うよう早咲きから遅咲きまで、観賞性が高く、樹勢や特性が名所づくりに適した品種を選抜しています。ここでは、近年育成された中から優良品種として提供している品種を紹介します。

大漁桜



静岡県熱海市で改良された品種で、花色や花形などから桜鯛をイメージしてこの名前がつけられました。オオシマザクラが関係した品種なので海岸沿いの潮風が吹くところでも良好に成育する品種です。温暖地では2月下旬から3月上旬にかけて開花します。また、開花時期は遅くなりますが、寒さの影響で‘河津桜’が良好に開花しない地域でもよく開花します。

神代曙



東京都立神代植物公園に植えられている桜で、名前の由来ともなっています。日本各地の‘染井吉野’にサクラ類でんぐ巣病が蔓延していることから、この病気に罹り難い品種を配布するため、試験植樹などを実施して選抜した品種です。

花色がやや濃いこと、開花が数日早いことなどから近年では‘染井吉野’の代替品種としての植樹が増加してきています。

舞姫



桜見本園で‘八重紅枝垂’の実生から作出された八重桜で、公募により命名され、農林水産省に品種登録されています。多くの八重桜類は葉の展開と開花が同時となりますが、新芽の展開に先立って開花するため、開花時期には樹全体が花で覆われて見事な景観となります。

また、エドヒガン系の品種なので強健で寿命も長いと考えられます。

紅華



北海道松前町で小学校の教員として勤務しながら児童とともに新品種の育成に努めてきた浅利政俊氏により育成された八重桜で、花色の紅色が柔らかな印象のため、広場などにまとめて植栽しても見飽きない品種です。また、樹形が盃状となるため、並木として街路などへの植栽にも適しています。

公益財団法人日本花の会

当会は、桜の名所づくりや花のまちづくりを推進して、地域の美しい生活環境づくりに貢献しています。結城農場(茨城県)では毎年数万本の桜の苗木を生産して、全国の公共団体や公共施設にお贈りし、地域の環境づくりやコミュニティづくりに役立つ桜の名所をつくるとともに、桜の生育状況の調査も行い、後世に残る桜の名所づくりを推進しています。

また、花の魅力を活かした豊かな環境をつくるために、花のまちづくりを積極的に展開し、全国花のまちづくりコンクールも実施しています。

結城農場には350種の桜を保存する桜見本園を有し、桜の品種調査や老齢木の樹勢回復の研究、さらに桜や草花による景観づくりの研究を進めています。これらの研究成果をもとに市町村のまちづくり計画への支援も行っています。

当会はコマツをはじめ、多くの企業や個人の方のご支援を得て活動を展開しています。会員には桜の苗木の頒布、催しものへの参加、会報の利用など各種の特典があります。

これからも桜や草花を活かした美しい地域環境づくりへの提言と実践を進めてまいります。

皆様のご支援をお願いいたします。

当会の後援会費及び寄附金には税制上の特典があります

当会は公益財団法人として認定されておりますので、後援会費は寄附金となります。寄附金については次のような税の減免措置があります。

1. 法人の場合

公益財団に対する寄附金は、一般の寄附金とは別枠で損金の額に算入することができます。

2. 個人の場合

個人の寄附金については、所得税の寄附金特別控除を受けることができます。

公益財団法人日本花の会

事務局・屋上庭園

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 コマツビル
TEL 03-3584-6531
FAX 03-3584-7695

結城農場・桜見本園

〒307-0044 茨城県結城市田間2217
TEL 0296-35-0235
FAX 0296-35-3385

当会HPは携帯電話からもご覧いただけます。
<http://www.hananokai.or.jp/>



権現堂桜並木(埼玉県幸手市)



都市農業公園(東京都足立区)



聖徳記念絵画館前グラウンド(東京都新宿区)